

【要聞】二次合金と合金スクラップが増加

アルミ圧延品 二次合金地金は生産、出荷とも増
生産は減少

橋本健一郎氏リポート②



橋本健一郎氏
米バイデン次
期大統領が一・
五兆ドル規模
の追加経済対
策を問もなく

■国際概況

発表するものとの期待などの好材料もあったが、中国国内での新型コロナウイルス感染拡大や、欧州での変異種感染拡大による需要不安などを嫌気してLMEアルミ相場はDOWN、一月十五日時点で二、〇一〇・五ドル(セツル)と月初価格から三ドルDOWNの前半締めとなった。

後半は、二〇二〇年中国アルミ生産量が過去最大の三、七〇八万トンに達したことなどのマイナスマテリアルもあったが、同国国家統計局の発表した二〇二〇年の国内総生産(GDP)が実質で前年二・三%増加などを好感してLMEアルミ相場はUP、一月二十八日現在、後半スタート価格から三ドルUPの二、〇〇三・五ドル。

■前月の経済指標

◆月間のドル/円レート (TTS)
一〇四・〇八→一〇四・六八(円)。

◆自動車生産台数

生産動態統計によると、十二月の自動車生産台数は前年比四・一%増の七十一万八、七三三台。輸出は七・七%減。

◆自動車販売台数

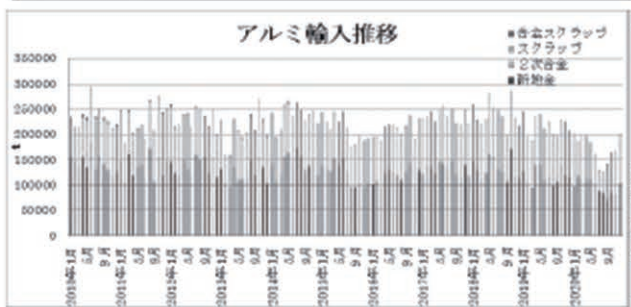
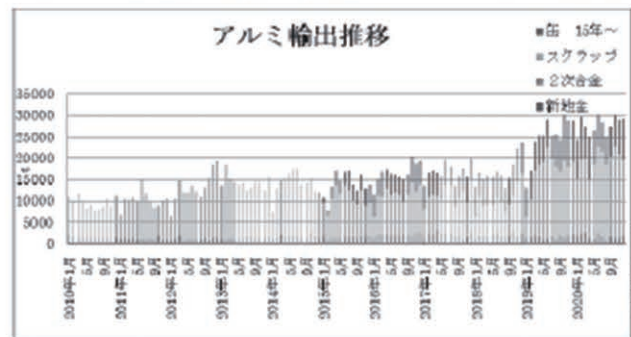
日本自動車販売協会連合会によると、一月の自動車販売台数(軽除)は前年比六・八%増の二三万六、五九二台。

◆新設住宅着工件数

十二月の新設住宅着工は、持家は増加したが、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比九・〇%の減少となった。また、季節調整済率換算値では前月比四・二%の減少となった。

新設住宅着工戸数は六万五、六四三戸で前年同月比九・〇%減と、一八カ月連続の減少。

新設住宅着工床面積は五、三八五千㎡で同七・九%減と、一七カ月連続の減少。



季節調整済率換算値では七八万四千戸で前月比四・二%減と、三月月ぶりの減少。

◆貿易関連指標

輸出

財務省貿易統計によれば、輸出はアルミ新地金が前年比九・四%増の一五三t、二次合金が一六・九%減の一、六七八t、スクラップが四・五%増の二万七、七二七t、アルミ缶が〇・五%減の九、六四七t。

輸入

輸入は新地金が前年比二・一%減の一〇万二、七六七t、二次合金が六・二%増の九万五、三二七t、スクラップが五・七%減の四二八t、合金スクラップは一〇五・二%増の六、七八九t。

■前月の国内指標

【アルミ圧延・押出品生産数量】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比四・二%減の一四万四、四〇四tと二カ月連続マイナス。

【アルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績】

生産は前年比六・七%増の六万八、二五五tと二カ月連続プラス、出荷は八七・七%増の六万八、〇七二tと二カ月連続プラス。(六面へ続く)